

事業名：日・越胸部外科学会連携を基盤とした、ベトナム主要病院に対する胸部外科周術期支援/協力

背景：ベトナムの経済発展は著しいが、特に胸部外科医療が追いついていない現状がある

目的：ベトナム国の胸部外科医療の発展

事業の概要：日越学会間連携を推し進め、NCGM・日本呼吸器外科学会が主体となり、胸部外科医療技術の推進と、日本産の医療器機の展開・輸出を行い、ベトナムの主要大病院(BM、Choray, 108、175病院)の胸部外科医療を底上げする

効果：胸部外科医療の底上げを行い、ベトナム国の医療を改善する。

2025年度終了までには、ベトナム呼吸器外科学会の創設を目指す。

国立国際医療研究センター(NCGM)
 日本呼吸器外科学会
 広島市民病院
 岡山大学・筑波大学
 岐阜大学・神戸大学・京都府立医科大学
 神奈川県立がんセンター



日本企業の医療製品を紹介

オリンパス:内視鏡システム・器具

メディカロイド:日本製ロボットHinotori

胸部外科の連携
 日本呼吸器外科学会
 ベトナム胸部外科学会

専門家派遣
 6月・12月

研修生受入
 5-6月、11-12月(1w)

協議 支援

国際医療協力局

ベトナム国政府健康管理委員会/厚生省

108軍中央病院
 175軍中央病院

先方出費も活用

バックマイ病院
 チョーライ病院

K 病院
 (ハノイがんセンター)
 クアン・ニン総合病院

展開推進
事業費等

具体的な目標:

- 腫瘍外科学/肺移植についての理解を深める
- 手術術式・方法の選択・術前評価、外科基本手技、内視鏡外科技術、ロボット外科手術手技の向上、安全性の向上
- 周術期管理、並びに術後評価、手術データベースの作成支援
- 呼吸器外科での手術ガイドライン作成の協力
- 国家プロジェクトである肺移植の支援
- ベトナム呼吸器外科学会の創設(胸部外科学会からの独立)支援

Perioperative cooperation/support for thoracic surgery for major hospitals in Vietnam based on collaboration between the Japan-Vietnam Society of Thoracic Surgery

- The strong need to learn surgery and perioperative treatment from Japan, and many requests for technological development from big hospitals, including the government.
- To make the protocol for postoperative lung cancer between NCGM and 108, 175 military hospitals
- NCGM/JACS aims to improve the level of surgical care in Vietnam, including perioperative management, surgical guidance, and postoperative management to the big central Hospital.
- By providing technical support to the central hospital, medical technology will be transmitted to the lower hospitals, so it is expected that the medical level of the whole country will rise by improving the surgical operation and perioperative management in Vietnam.

